



前 向きになることの大切さ学ぶ

小張小でパラ競技アスリートが講演

小張小学校で11月20日、パラ五輪競技のゴールボール男子日本代表強化指定選手の山口凌河^{やまぐちりやうが}さんを招き、講演会と競技体験が行われました。講演で山口さんは、難病により視力を失った過去から、どうやって前向きになれたかを講演し「どんなことでも前向きにとらえていくことが大切。何か一つでも夢中になれるものを持って」と優しく児童に語りかけました。講演の後、児童たちは、山口さんと一緒に実際にゴールボールの競技を体験しました。

▶笑顔で児童にアドバイスをする山口さん



紅 白のおもち、きれいでしょ

わかくさ幼稚園で「ならせ餅」づくり

紅白の餅を木の枝に刺して、無病息災や五穀豊穡を祈願する茨城の伝統行事「ならせ餅」が12月11日、わかくさ幼稚園で行われました。この日は、年長組の園児81人が、白と杵を使った餅つきを体験。「ヨイショ！ヨイショ！」と元気の掛け声がかかる中、一所懸命に餅をつきました。その後、園児たちはできあがったばかりの紅白の餅を小さく丸め、木の枝に刺して「ならせ餅」を完成させました。

空 手の県大会で優勝飾る

谷和原中の寺門さん、全国大会出場へ

JOC ジュニアオリンピックカップ彩の国杯「第14回全国中学生空手道選抜大会」の茨城県予選が11月23日に開催されました。この大会に谷和原中学校の寺門優泰^{てらかどゆうだい}さん(1年)



が、男子個人「形」、1年生の部で出場し見事、優勝しました。この結果、寺門さんは来年3月に埼玉県で開催される全国大会へ茨城県代表として出場することが決まりました。寺門さんは「4月からしっかり練習に取り組んできた成果が出せた。全国大会では、まず1回戦突破を目指したい」と意気込みを語ってくれました。



キーホルダーづくりをする参加者の皆さん

親 子で木の工作楽しむ

谷和原公民館で「みらい親楽講座」を開催

小さい子どもを持つ親が集い、さまざまな体験を通じて学びあい、交流を深める「みらい親楽講座」が11月27日、谷和原公民館で開催されました。「みらい親楽講座」は全7回で行う講座で、この日は18組の親子が参加し、天然木を使ったキーホルダーづくりにチャレンジ。好きな絵を描いたり、色を塗ったりしながら親子で楽しみました。工作のあとは、部屋いっぱいに広げた「木のおもちゃ」で、積み木やコマ回しをして遊びました。